

TV 報道検証【報道特集】 報告書

|  |          |                |
|--|----------|----------------|
| テレビ局： TBS  | 番組名：報道特集 | 放送日：2020年7月25日 |
| 出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、宇内梨沙<br>國本未華（気象予報士）  |          |                |
| 検証テーマ： オープニング、米中関係   |          |                |
| <p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染者</li> <li>・連休中の観光地</li> <li>・世界の感染者</li> <li>・オープニング</li> <li>・ALS 囑託殺人事件</li> <li>・東海地方で土砂災害警戒</li> <li>・【速報】長崎県諫早市でがけ崩れに歩行者3人が巻き込まれる</li> <li>・気象情報</li> <li>・熊本でボランティアが再開</li> <li>・京都府で刃物を持った男に襲いかかれた警官が発砲</li> <li>・米中関係</li> <li>・日本人女子学生誘拐事件で元交際相手「真犯人見つければいい」</li> <li>・台東区で生後3ヶ月乳幼児放置死事件</li> <li>・東京医科大学の臼井前理事長に脱税容疑</li> <li>・【特集】観光地の感染拡大防止策は？</li> <li>・【特集】知られざる新型コロナウイルス後遺症の実態</li> <li>・スポーツ報道</li> </ul>   |          |                |
| <p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニング：結論→特に問題なし<br/>番組の冒頭で金平キャスターが「支離滅裂という言葉があります。全体としてまとまりがなく道筋が立たないという意味です。今この国でコロナ感染が再拡大しています、そのさなかでのGoToキャンペーン、私たちは今本当はどの段階にいるのでしょうか、私たちの国のコロナ対策は支離滅裂ではないのかどうか、今日の特集で考えます。」とコメントしていた。このシーンに当てられた時間は24秒で放送法上は特に問題は見られなかった。</li> <li>・米中関係：結論→特に問題なし<br/>"日下部正樹「対立が激化する米中関係です、アメリカが閉鎖を命じた南部テキサス州の中国総領事館が24日閉鎖され、アメリカ当局者が館内に入る姿も確認されました。」<br/>ナレ「テキサス州ヒューストンにある総領事館。閉鎖の期限となる24日、職員らが大量の荷物をトラックに積み込みました。職員らが去ったあとにはアメリカの当局者が総領事館に到着。総領事館はスパイ活動の拠点になっていたと指摘されていて、ロイター通信は閉鎖後に当局者が工具を使って館内に入る様子を報じました。」<br/>アメリカ政府高官「総領事館の職員がテキサス州で活動する中国人研究者に情報収集について支持していた。」</li> </ul> |          |                |

ナレ「一方、中国は総領事が抗議の書簡を公開、スパイ活動の拠点だとするアメリカの見方を否定しました。」  
蔡偉（ヒューストン総領事）「総領事館は両国の国交樹立後に開設された最初の総領事館で 40 年以上に渡って両国の協力を促進してきた。」 "

"ナレ「また、中国も昨日、報復措置として四川省成都にあるアメリカ総領事館を閉鎖するよう通知しましたが、トランプ政権は強く反発しました。」

マクナニー（報道官）「中国共産党は仕返しをするのではなく、悪意のある行為をやめるように求める。」

ナレ「24 日には中国軍との関係を隠してアメリカのビザを取得しサンフランシスコの総領事館でかくまわれていた中国人の女が逮捕されました。更に国土安全保障省が対中国で新たな作業チームを発足させたと発表、貿易やサイバーセキュリティ、移民、知的財産分野での中国共産党の悪質な活動を抑制するとしていて、トランプ政権は中国に対する新たな措置を次々に打ち出しています。」 "

このトピックに当てられた時間は 140 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし